

科目名	教育実習（特別支援学校）					単位	2.0
担当教員	北畠 知量・眞有 澄香・目黒 達哉						
授業形態	実技・実習	開講期間	集中	配当年次	4	授業番号	9119

●授業のテーマ

教育実習（特別支援学校）

●到達目標

教育実習へ向けての事前指導を行い、実習を実施できるようにし、その振り返りを実施し、特別支援学校教員になっていくための基礎固めをする

●学習内容(授業概要)

発達障害を持つ生徒の教育や指導を実際に教育実習で行うことに必要な心得とその実際に向けての事前指導を教育実践事例の検討やロールプレイを含めて行う。障害を持つ生徒に対して、授業中のみならず授業外での活動やふれあいに関しての留意点を示す。そのことにより教師としてのあり方や教育のポイントを修得する。実習期間中は訪問指導を行い、事前指導が生かされて実際の中で活用できているか、直接的に障害を持つ生徒とふれあう中でどのように彼らの個性を伸ばしたらよいかなど、実践と課題を意識化させる。事後指導では、障害を持つ生徒への教育と指導を実践しての反省と課題を取り上げ検討する。[キーワード] 特別支援学校、教育実習、教員

●学習内容(授業計画)

実習時間は90時間とする。

- ア. 教育演習の中で事前事後指導を行う。
- イ. 他に随時指導を行う。
- ウ. 実習巡回指導を実施する。
- エ. 学生は下記の内容について実習指導者の指導を受ける。
- オ. 実習は主として6月・10月に行われる。
- カ. 12月に実習報告会を行う。

- (1) 障害をもつ生徒の理解
- (2) 教師としてのあり方
- (3) 教育のポイント
- (4) 指導案の作成
- (5) 授業の取り組み方
- (6) 教材研究
- (7) 授業分析
- (8) 授業外活動について
- (9) 交流教育

●準備学習・事後学習の内容

実習前に、実習に関連する書籍、資料、新聞記事を読み、実習をするにあたっての心構えや留意点などをまとめ、また指導案も作成すること。

実習後は、実習日誌の整理や実習報告会に向けて資料を作りをする。

●成績評価方法・基準

小レポート（10%）、実習報告会発表（20%）、実習後のレポート（30%）、実習校の評価（50%）により総合的に評価する。

●テキスト（必携）

講義時に指示する。

資料を配布する。

●参考文献／その他

講義時に指示する。

●履修上の注意

欠席は許されない。